週間天気予報解説資料

2025年9月9日10時00分発表
気象庁

予報期間　9月10日から9月16日まで

◆今期間のポイント

＜主要じょう乱の概要＞

- 期間を通して太平洋高気圧が日本の南へ張り出す。
- 12日は、高気圧が千島近海へ移動する。
- 13日から14日は、低気圧が日本海からオホーツク海へ進み、前線が日本付近へのびる。
- 15日から16日は、低気圧が中国東北区からオホーツク海へ進む。

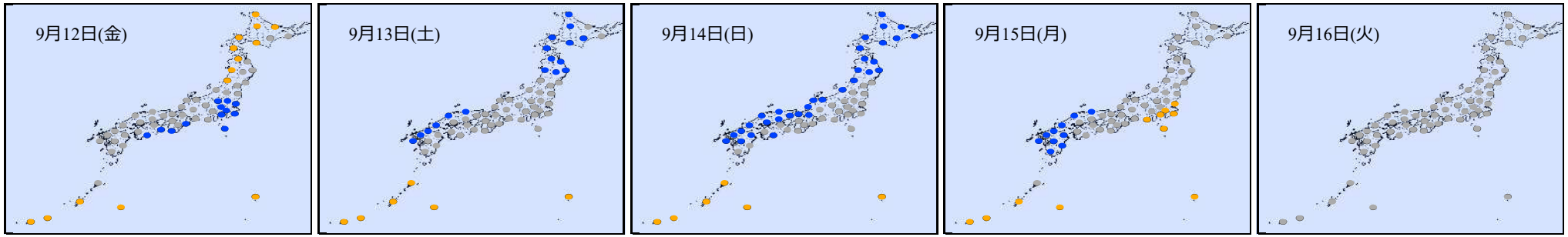
＜防災事項＞　11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 13日から14日頃は、北日本と東日本日本海側では低気圧や前線の影響で大雨となり、低気圧の発達の程度や前線の活動の程度によっては警報級の大雨となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

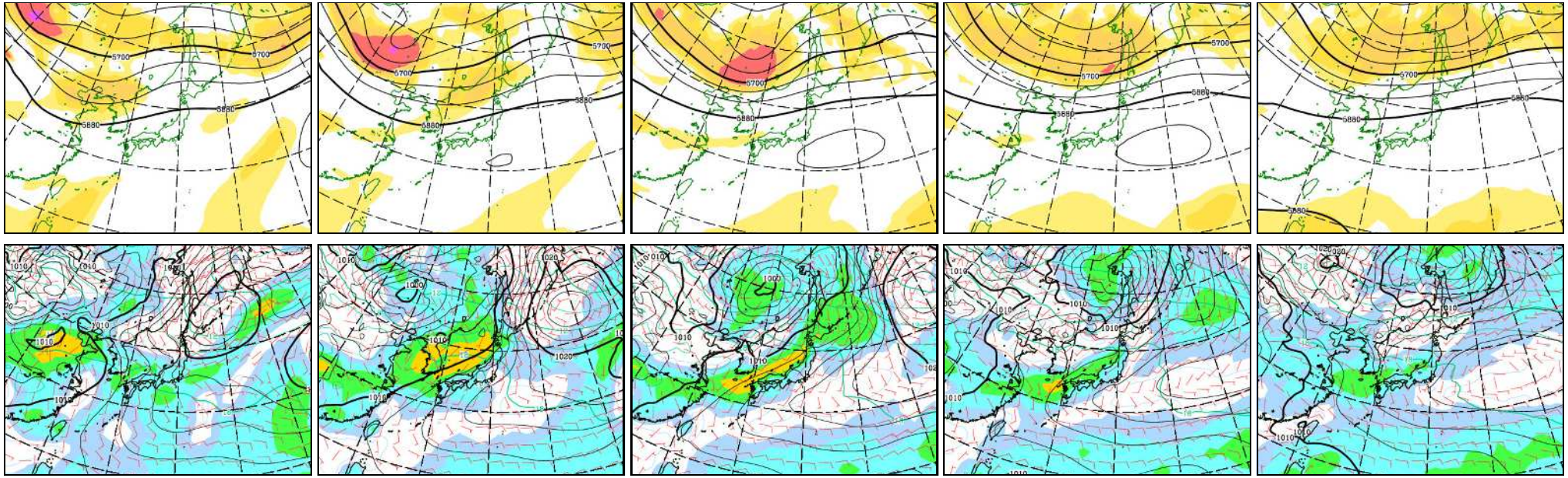
◆10時時点の３～７日目の天気予報案　(11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)



- 北日本は、曇りや雨の降る日が多いが、12日は晴れる所がある。
- 東日本と西日本は、曇りや雨の降る日が多いが、15日は晴れる所がある。
- 沖縄・奄美は、晴れる日が多い。

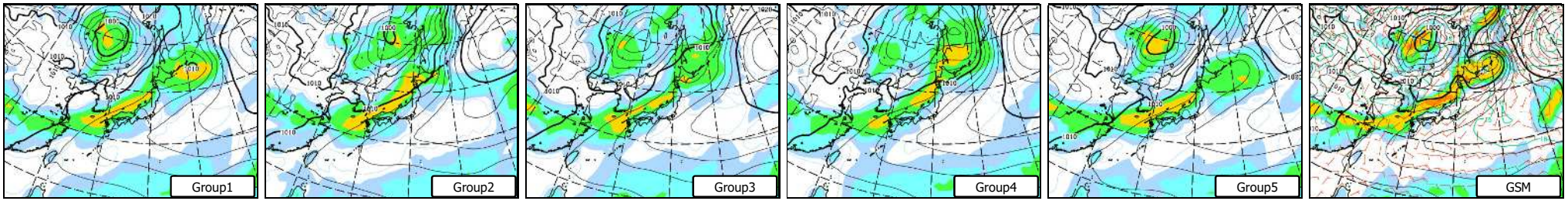
◆アンサンブル(ENS)平均予想図　上図：500hPa高度線、渦度　下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)

9月12日(金)　9月13日(土)　9月14日(日)　9月15日(月)　9月16日(火)



渦度(10^{-6}/sec以上)　0　10　20　40　80　100　風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

◆9月14日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図　海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



風速　10KT　50KT　降水量(mm/24hours以上)　2　4　8　16　32　64

◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料（ENS）は、13日は朝鮮半島付近のトラフが深まって東進が遅くなり、日本海へ進む低気圧が明瞭となった。また、16日は西谷の流れが明瞭となり、湿った空気が流れ込みやすくなった東・西日本で降水確率が大きくなった。
- 各モデルとも、13日から14日は低気圧が日本海からオホーツク海へ進み、前線が日本付近へのびる予想はおおむね揃ってきた。
- スプレッドは、期間を通して比較的小さいが、期間の終わりにオホーツク海付近へ進む低気圧は、メンバー間の差やモデル間の差が見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。